



中国(旧満州)で採集された戦前の鳥類標本(柳原コレクション)



ニホンオオカミ

(和歌山大学教育学部所蔵 撮影:桑原 英之) 展示期間:8月7日~9月2日



アマミノクロウサギ
(多治見高等学校寄贈)



職人(剥製師)が幕末から明治初期の人魚の剥製を再現

岐阜県は、日本のほぼ中央に位置し、標高差も大きいことから、多様な自然環境が見られ、多くの生物で満ち溢れています。その一方で、身近な里山の動物が減少し、外来生物の侵入や大型哺乳類の分布拡大によって、ふるさとの自然環境が損なわれています。

戦前の学校には、ライチョウやカモノハシなどの珍しい標本があり、児童生徒は、ふるさどだけではなくグローバルな自然のあらましを学ぶことができました。現在、学校教育の中で、標本を使って自然を学ぶ機会は減りましたが、私たちは博物館に蓄積された標本を観察することで、ふるさとの自然の変化を知り、同時に自然の造形の驚異に触れることができます。

今回の特別展では、動物分野を中心に自然史研究の証拠資料として博物館に保管されている標本をはじめ、戦前の学校教育で使用された資料を展示することで、標本の価値や歴史を学び、岐阜の多様な自然のすばらしさを紹介します。



トキ

(奈良女子大学理学部所蔵)



東南アジアのトリバネアゲハ類(個人コレクション)



- 東海北陸自動車道「関インター」から車5分
- 岐阜バス(小屋名バス停下車 徒歩20分)
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください(岐阜関線、岐阜美濃線)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(岐阜関線)
- 関シティバス(百年公園バス停下車 300m)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(わかさ・小金田線、わかさ・千足線)

お車で越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。

※Googleマップでは「百年公園北駐車場」で検索してください。

